

とくしま多文化共生支援センター



2026.05

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会



本年度、「とくしま国際戦略センター」は「とくしま多文化共生支援センター」へと名称を変更いたしました。名称は変わりましたが、これまで大切にしてきた取り組みを引き継ぎながら、引き続き多文化共生の推進に取り組んでまいります。

世界には、さまざまな文化や価値観を持つ人々が暮らしていますが、県内で生活する外国人が増えることにより、その多様性はますます身近なものとなっています。そうした中で、互いを知り、理解し合いながら安心して暮らせる地域づくりが、より一層大切になっています。

当センターでは、県内外国人を対象に、生活相談支援や情報発信、県民との交流の機会づくりなどを通じて、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指しています。本機関誌では、そうした取り組みや日々の活動の様子を、皆さまに身近に感じていただけるようお届けしてまいります。

これからも、地域の皆さまとともに歩みながら、多文化共生の輪を広げていきたいと考えています。引き続き、温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

● 外国人との共生社会実現に資する事業

当協会は、とくしま多文化共生支援センターの運営を柱に、県内国際交流・協力の中心的な役割を担い、県や市町村、民間団体などと連携し、在住外国人が県民とともに安心して生活するための相談や、訪日外国人観光客などを含めた在県外国人への情報提供及びコミュニケーション支援を実施することにより、多文化共生を推進いたします。

また、国際交流・協力及び多文化共生に関する様々な情報を収集・提供することにより、県民への意識啓発を図るとともに、異なる文化や歴史、生活習慣、価値観などを理解し、人権や多様性を尊重する国際感覚豊かな人材を育成いたします。

● 阿波おどり交流事業

時期：令和8年8月14日(金)

留学生や外国語指導助手並びに在住外国人と県民による「あらそわ連」を組織し、伝統的な郷土文化である阿波おどりを共に楽しみ、相互理解を深め、国際親善及び協力を図ります。

● ホームステイ・ホームビジット受入事業

時期：秋頃

場所：徳島県内

徳島県在住の留学生を対象に1泊2日のホームステイ、日帰りのホームビジットを実施し、地域での国際交流と相互理解の促進を図ります。受け入れに興味のある方はお問い合わせください。

● とくしま多文化共生推進事業

外国人支援のための各種ボランティアの募集・養成を行い、ボランティア活動を支援することにより、県民の皆様の国際理解と官民協働の国際交流・協力活動を深め、本県の多文化共生を推進いたします。



国際理解支援講師派遣



阿波おどり あらそわ連



防災センタースタディツアー



外国人総合相談窓口



ホームステイ・ホームビジット



● **ONE WORLD こども支援事業**

世界の未来を担う子どもたちに、様々な国の人たちとの交流体験を通して、国際社会の一員としての自覚を促し、異文化交流や国際理解及び国際協力への意識の醸成を図るための支援事業を行います。

● **外国人による日本語弁論大会**

時期:令和8年7月18日(土)

スピーチの部:13:00~16:30

場所:あわぎんホール 5階小ホール

県内在住外国人(中高生及び一般)から参加者を募り、日本語での弁論とともに会場参加者との意見交換や交流会を行い、異文化理解、多文化共生の促進を図ります。

● **地域外国人日本語支援事業**

日本語教室を開催し、在住外国人のための日本語支援を実施することにより、外国人を社会の一員として受け入れ、平時・有事を問わず、安全・快適に暮らすことのできる多文化共生のまちづくりを推進いたします。

また、外国人住民と関わりがある県内の自治体や団体・企業などに向けて「やさしい日本語」の普及を図る研修を開催いたします。研修に興味のある方はお問い合わせください。



ONE WORLD こども支援事業

● **地域外国人相談支援事業**

外国人材受入拡大に伴い、言葉や生活習慣の違いなどからトラブルが生じる恐れがあります。また、地震や豪雨等の自然災害における、外国人の支援体制の脆弱性が全国的に指摘されていることから、地域の外国人からの相談に対する各種支援を行います。

● **とくしま多文化共生支援センター運営事業**

(公財)徳島県国際交流協会(TOPIA)を核として、県民、行政、関係機関の力を結集し、国際交流や地域貢献など多様なニーズに対応する「ワンストップ情報発信拠点」を運営し、県内在住外国人の生活利便性の向上に寄与し、「地域の国際化」を支援いたします。

● **外国青年招致事業**

● **情報誌「AWA LIFE」及び「阿波生活」の発行**

● **機関誌「とくしま多文化共生支援センター・TOPIA」の発行**

● **外国人観光客案内事業**

● **旅券発給補助事業**

2026年度外国人による徳島県日本語弁論大会

日本語弁論大会を開催いたします。徳島県で頑張っている在住外国人の方たちの日頃の想いや考えを聴きにぜひご来場ください！

【日時】令和8年7月18日(土)

13:00~16:30

【場所】あわぎんホール 5階小ホール



日本語教室



日本語弁論大会

徳島県からのお知らせ

日本語教育の推進に関する基本方針を策定しました

徳島県では、このたび「徳島県日本語教育の推進に関する基本方針」を策定しました。

この方針では、外国人住民の皆様が地域社会の一員として安心して暮らせるよう、「日本語の習得」と、生活に必要な「日本のルールやマナーの理解」を施策の両輪と位置づけ、県全体で推進することを掲げています。これまで地域を支えてくださったボランティアや国際交流団体の皆様に加え、今後は市町村や外国人を雇用する企業も一丸となって、この取り組みを進めてまいります。

「日本語を教えてみたい」「多くの国の方と交流してみたい」という皆様、その思いを形にしてみませんか。県では、初めての方でも安心して活動できるよう、日本語支援ボランティア養成講座などの研修も実施しています。ぜひ一歩踏み出して、チャレンジしてみてください。

また、「日本語や生活ルールを勉強したい」「一緒に学ぶ仲間と出会いたい」という方へは、お近くの教室をご案内しています。

「関わってみたい」という少しの興味が、地域の大きな力になります。教室の場所や研修の内容など、まずはいつでもお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】

基本方針に関すること：徳島県生活環境部多文化共生・人権課
電話：088-621-2028


日本語教室に関すること：徳島県国際交流協会
電話：088-656-3303

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kurashi/chihososei/7308970/>



このたび、当協会に3名の新しいスタッフを迎えました。それぞれの経験を活かし、多文化共生の推進に力を注いでくれることと思います。また、尽力してくださった4名のスタッフが離職されました。心より感謝申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

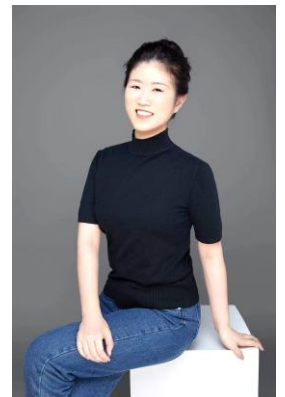
TOPIA ニューフェイス

徳島県国際交流員
銭肖男 

皆さん、こんにちは！徳島という風光明媚な地で皆さんと出会えて、とても嬉しいです。私は中国江蘇省出身の銭肖男と申します。4月から、国際交流員(CIR)として徳島で勤務することになりました。今後は私が中国語のニュースレター『阿波生活』の編集を担当させていただきます。

私の故郷は中国南部の、海から遠く離れた内陸の都市です。ですから、これから行く先が海に近いところと聞いて、とてもワクワクしました。私は海鮮料理が大好きで、徳島に来る前から、どんな料理を食べようか考えていたほどです(笑)。とにかく、これから徳島で始まる生活に対して、緊張と期待が入り混じった気持ちです。

私は子供の頃からアニメが大好きでした。おそらくそれがきっかけで、最終的に日本で働き、暮らすことを選んだのでしょう。それ以外にも、美味しい料理や楽しい場所を探すのが大好きです。ですから、あちこち旅行して、その土地の料理を味わい、現地の文化を体験することも、私の趣味の一つです。



徳島での主な業務は、海外からの来訪者への対応(通訳・翻訳業務)、特定イベントの手配・調整、そして『阿波生活』の編集など多岐にわたります。初めての仕事であり、分からないことも多く、緊張もしていますし、各業務をこなせるか不安でもありました。しかし、同僚たちの温かいサポートのおかげで、少しずつ自信がついてきました。これからの仕事においても、努力を重ね、一つひとつ完璧な成果を上げていけるよう頑張りたいと思います。

最後に、徳島に来ることができ、この地の一員になれたことを大変光栄に思います。今後は、徳島の美味しい食べ物や美しい景色を楽しみながら、夢を抱き続けて成長し、日中関係の架け橋となるよう尽力してまいります。

徳島、こんにちは！どうぞよろしくお願いいたします。

長期社会体験研修生

大橋 愛



みなさん、はじめまして。4月から長期社会体験研修生としてTOPIAでお世話になることになりました大橋愛と申します。TOPIAでは、国際理解支援講師の派遣や職場体験など、学校教育との橋渡しを中心に担当いたします。

私は徳島県出身で、中学生の頃から始めた阿波おどりを、大人になった今でも続けています。お盆の阿波おどり本番の時もそうですが、阿波おどり会館で夜の公演に出ている時にも、県外からだけでなく海外から見に来てくださるお客様の多さに毎回驚きます。「広い世界の中で日本を見つけて訪れようと思うなんてすごいな、また、日本の中でも徳島に興味をもってもらえたなんて奇跡だな。」と思いながら演舞しています。お客さんにどこから来たのか尋ねると、多岐にわたっており、いろんな国の言葉で伝えられない自分にもどかしくなることも度々あります。

TOPIAで異文化理解、多文化共生について学びながら、徳島のよさを様々な国の人に伝えていきたいです。よろしくお願いいたします。

ベトナム語相談員

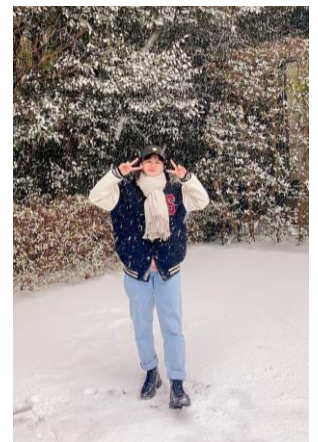
グエン ティ フオン



はじめまして。グエン ティ フオンと申します。4月からベトナム語相談員として徳島県国際交流協会に働くこととなります。ベトナム出身で、現在は日本でメディアについて勉強しております。新しい環境に挑戦することが好きで、さまざまな経験を通して自分を成長させたいと考えております。

日本での生活を通して、地域ごとに異なる文化や人々の考え方に興味を持つようになりました。中でも徳島は、自然に恵まれているだけでなく、人と人とのつながりを大切にする温かい地域だと感じています。実際に働きながら、徳島の文化や人々についてより深く理解し、自分自身の視野を広げていきたいと考えております。

まだ不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一日でも早く仕事に慣れ、少しでも貢献できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



多文化共生セミナー開催

令和8年3月13日(金)、NPO法人多文化協働ネットワーク理事・事務局長の阿部一郎氏を講師にお迎えし、「令和7年度多文化共生社会を模索するセミナー～境界を越えた協働に向けて～」をテーマにセミナーを開催しました。

講演では、日本の人口減少や地方の過疎化が進む中で、技能実習や特定技能として働く外国人の方々が増えている現状についてお話がありました。地域を支える大切な存在である一方で、長期間の単身生活や働く環境など、制度の課題も多く、今後の見直しの必要性についても触れられました。

また、これまでの在日コリアンや日系人の歴史を振り返りながら、外国にルーツを持つ子どもたちの教育や言語の問題についてもお話がありました。日本語だけでなく、母語も大切にしながら学びを支えていくことの重要性が印象に残りました。

多文化共生については、「お互いを認め合い、影響し合いながら共に生きていく社会」とし、そのためには特別な交流ではなく、地域の中で自然に関わる「隣人としての関係づくり」が大切であると強調されました。

後半のワークショップでは、参加者それぞれが感じている課題を共有し、地域でできる取り組みについて意見交換を行いました。「まずは挨拶から」「交流のきっかけづくりが必要」など、身近なところからできる行動について多くの気づきがありました。

最後に、多様な人が出会い、つながり、課題に向き合う「プラットフォーム」の重要性についてお話がありました。多文化共生は特別なものではなく、これからの地域づくりに欠かせない視点であることを改めて感じる機会となりました。



コミュニティ通訳ボランティア研修会

語学ボランティアのスキルアップおよび地域における多文化共生の推進を目的として、コミュニティ通訳ボランティア研修を実施しました。本研修は、令和8年2月22日(日)にオンラインにて開催し、講師には公益財団法人箕面市国際交流協会 事務局次長の岩城あすか氏をお迎えしました。

当日は、はじめに当協会より徳島県内に在住する外国人の状況について説明を行い、その後、講師による講話およびワークショップを実施しました。講義では、コミュニティ通訳の定義や役割、活動分野に加え、通訳に求められる倫理や留意点について解説があり、医療・行政・教育といった現場での具体的な事例も紹介されました。

特に、通訳における正確性・中立性・守秘義務の重要性についての説明は印象的であり、支援の現場における通訳者の責任や役割について改めて認識する機会となりました。また、専門職と当事者との関係性や、通訳者の調整機能についても理解が深まりました。

ワークショップでは、実際の場面を想定した翻訳に取り組み、「具体例が分かりやすかった」「実務に活かせる内容だった」といった声が多く寄せられました。参加者からは、「地域に密着した重要な役割であることが分かった」「やさしい日本語で対応できると感じた」など、今後の実践につながる前向きな意見も見られました。

本研修を通じて、コミュニティ通訳に対する理解と意識の向上が確認されました。当協会では、今後も語学ボランティアのスキルアップとともに、多文化共生社会の実現に向けた人材育成に取り組んでまいります。



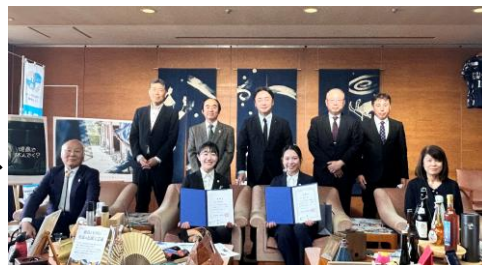
JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で 世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

JICA海外協力隊の表敬訪問を行いました

〇4月6日(月)徳島県出身の隊員2名が県庁および各市役所に表敬訪問しました！

JICA海外協力隊(2025年度3次隊)として派遣される徳島県出身の2名(福本麻愉さん/コロンビア/品質管理・生産性向上)(曾木郁実さん/マレーシア/新体操)が、出発を前に徳島県庁およびそれぞれの出身地の市役所を表敬訪問しました。県庁では両隊員が抱負を述べるとともに、知事からはこれまでの経験を活かして国際協力に貢献することへの期待の言葉が贈られました。福本さんは徳島市役所を訪問し、市長との歓談の中で阿波おどりなどの文化と専門分野である食品との両面から徳島との架け橋になってほしいという激励の言葉を受けました。曾木さんは鳴門市役所を訪問し、市長からエールを受けるとともに、「現地で指導した選手を将来的に日本で開催される国際試合へ出場させたい」と任国での競技レベル向上と交流への意欲を述べました。福本さんと曾木さんの任地でのご活躍と安全を祈っています！



(徳島県庁訪問の様子)

過去の出前講座や応募方法についての詳細は、JICA四国HPをご覧ください。

【お問い合わせ先】独立行政法人国際協力機構(JICA)四国センター
〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル1階
電話番号:087-821-8824 ファックス:087-822-8870 メール:jicaskic@jica.go.jp

JICA四国 出前講座



新しい国際協力推進員が着任しました！

〇4月からJICA徳島デスクに着任した森田真麻です

こんにちは！ジェバレコ！この度国際協力推進員に着任した森田です。JICA海外協力隊2019年度2次隊としてアフリカのウガンダに赴任していました。その後は教員として働き、心機一転徳島で勤務することとなりました。高知県出身で、徳島で暮らすのは今回が初めてとなります。これまでの経験も活かしながら沢山の方々とながり、協力し、徳島の国際協力や国際理解に携わっていきたいと思います。JICAのこと、協力隊のこと、ウガンダのこと、高知のこと、なんでもお話しに来ていただけたらと思いますので、お気軽に森田をお訪ねください！

徳島生活では、地元の美味しい食べ物や特産品を探すこと、登山に行くことが一番の楽しみです。おすすめのお店や山があれば、ぜひ教えていただけると嬉しいです。これからどうぞよろしくお祈りします！ンサニューセ オククラバ～！



(ウガンダにて村の人たちと)

イベント予定や過去のイベントについての詳細は、JICA四国Facebookをご覧ください。

【お問い合わせ先】独立行政法人国際協力機構(JICA)四国センター
〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル1階
電話番号:087-821-8824 ファックス:087-822-8870 メール:jicaskic@jica.go.jp

JICA四国 Facebook



JICA徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク: 徳島県国際交流協会(TOPIA)内/徳島県国際協力推進員 森田

TEL: 088-656-3303 Email: jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

JICA四国HP: <https://www.jica.go.jp/shikoku/index.htm>

JICA海外協力隊の
個別相談受付中



「とくしま外国人支援ボランティア会員」

募集中

徳島県には約95か国、9,717人※(県人口の70人に1人)の外国人の方が住んでいます。加速する少子高齢化と労働者の不足により、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま多文化共生支援センターホームページの「ボランティア募集」をご覧ください。



※令和7年12月末現在

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3か月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費 個人会員 一口 3,000円/年度
 団体会員 一口 10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として、当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師(県内在住外国人等)を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。興味のある方は、どうぞお気軽に当協会までご連絡ください。

徳島県外国人総合相談窓口



徳島県で生活する外国人のみなさんにとって、暮らしやすい地域社会であることを目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、ベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に來所いただくか、お電話下さい。

開所時間:10:00～18:00(年末年始を除く)

場所:とくしま多文化共生支援センター

(公益財団法人徳島県国際交流協会)

多言語対応:

(1)多言語(英語・中国語・ベトナム語)相談員の配置

(2)電話通訳システムの導入

(通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる)

【対応言語】22言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語 ⑲シンハラ語
- ⑳ベンガル語 ㉑ヒンディー語 ㉒ウルドゥー語

(3)映像通訳システムの導入

(相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応)

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧タガログ語

(4)対面式通訳機(ポケットーク)の導入(74か国語)

(5)多言語翻訳アプリ(ボイストラ)の導入

相談専用TEL: 088-656-3312

088-656-3313

相談料: 無料(ただし、電話代は自己負担となります)

問い合わせ:公益財団法人徳島県国際交流協会
 〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6F

開所時間:月曜日～日曜日 10:00～18:00

閉所日:年末年始

TEL: 088-656-3303

FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>